



こども教育学だより

鈴鹿大学こども教育学部通信 10号

全国にいる先輩たちとつながる

鈴鹿大学短期大学の同窓会が9月1日にありました。本学部の礎は短期大学部にあります。そのOG・OBの方々とお話し、全国で活躍する先輩たちのことをうかがいました。右の写真は、滋賀県の私立高校で養護教諭として勤務されているお二人の先輩に会ってきたときのものです。三重・滋賀以外にも、大阪・新潟・京都・静岡などで先輩たちが勤務されていると伺い、また、後輩の皆さんに温かいエールをいただきました。その内容はさっそく「教職概論」という授業でお話しました。今度は、幼稚園教諭・保育士で活躍している先輩のところにもお邪魔してきます。本学部は新しくても、歴史的につながっている先輩が、現役学生の皆さんに、大いに期待してくださっていると実感しています。(川又俊則)



OGの保健室 (8/24 比叡山高校 宮本愛子先輩と小牧裕美先輩)

授業紹介



児童文化と表現 大久保友加里

こども教育学部1年生を対象とした授業「児童文化と表現」では、保健室に飾る可愛い壁面を制作しています。題材は「朝ごはんのクイズ」や「かぜに気をつけましよう」など、楽しくてわかりやすいクイズもあります。各グループ内で役割分担を決め、話し合いをしながら進めています。「ハサミやノリを使うのは久しぶり!!」という声も。完成後、それぞれの題材に関連した「生活のうた」の演奏とともに、披露してもらうのが楽しみです。

保育実習指導 I (保育所) 田島孝次郎

保育実習指導 I (保育所)では、保育所での実習に必要な書類の準備や手続きを行い、実習の予備知識や人権の尊重、守秘義務の厳守等、実習生としての心構えを修得するとともに、実習日誌や指導案の書き方を学習し、実習において何を学びたいのかという課題を明確にしています。また、実習後の振り返りを通して実習の総括と自己評価を行い、保育に対する新たな課題や目標を探ることをします。



10、11月トピックス

鈴鹿高等学校文化祭へも出展 (9/28)

幼児教育学専攻 (10月～)

恩物(おんぶつ)は神様からの賜り物という意味を持つ様々な形の積木や色板、金属の輪などです。幼児教育の父と呼ばれるフレーベル(1782-1852)が考案した“教育玩具”です。「保育原理」の授業で保育の歴史を学ぶ時間に、実際に触れてみました。日本でも明治・大正・昭和初期には多くの幼稚園で使用されていました。当時は授業教材に位置づけられていて、時間割の中に組み込まれていました。先生が幼児に指示して様々な形を構成させ、数量認識、空間認識、表現技術、お話づくり、操作方法・・・などの教育を行っていたようです。学生は恩物を自由に使用して少しの時間遊んでみました。(田口鉄久)



保育原理の作品

養護教育学専攻:教員採用試験対策講座 (10月～)

10月より、集団面接を中心とした講座が学生ホールにおいて始まりました。受講者は、短期大学部専攻科健康生活学専攻1年生の7名と、こども教育学部養護教育学専攻2年生の5名です。この講座には、元津市内小学校長の酒井啓子先生に担当して戴いています。特に毎週水曜は、討論の課題に沿って、実際に集団面接(討論・ディベート)を行います。ここでは、実際の集団面接後に講師による講評を行い、課題に対する知識の更なる獲得や、討論技術の向上を図っています。また、面接の基礎知識やマナー、模範例などを、DVD視聴を通して身に付けていきます。その他、不定期ですが、木・金曜には、模擬授業や論文の指導も個別に行っていきます。(坪井守)



面接指導の一風景

YOSAKOIソーランで活躍

1年生の辻本さん、守山さんは、YOSAKOIソーランのチーム「mikage」に所属しています。立ち上がって1年目のこの団体は、8月4日の「鈴フェス」に続いて、10月6日の「安濃津よさこい」に出演、素晴らしい演舞を披露していました。私もその優雅な踊りを堪能しました。こうして、課外でも活躍している姿は素晴らしいですね。目指せ!ファイナル。(川又俊則)



安濃津よさこいで演舞する mikage のメンバー

イメージキャラクター
よるこびちゃん



あとがき

平成30年11月30日発行
← 恩物の例 鈴鹿大学
こども教育学部通信 10号

今回は恒例の授業紹介以外に、専攻別で特色ある課外講座や授業を紹介しました。秋の大きなイベント大学祭の前に、鈴鹿高等学校の文化祭にも出展させていただき、ありがとうございました。冒頭は、短大部卒業生の方々が新しい学部の後輩たちに期待していることを述べました。それに応え、一つ一つ成長していきましょう。(TK)